



2024 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山 田 英
(コード：4563 東証グロース)
問合せ先 広報・IR グループ
<https://www.anges.co.jp/contact/>

**公益財団法人群馬県健康づくり財団と
群馬県における拡大新生児スクリーニング検査について契約を締結**

当社は、希少遺伝性疾患検査を主目的とした衛生検査所「アンジェスクリニカルリサーチラボラトリー」（以下、「ACRL」という）において、拡大新生児スクリーニング検査の受託を2024年8月1日より開始する契約を公益財団法人 群馬県健康づくり財団（以下、「健康づくり財団」という）と締結いたしましたので、お知らせいたします。

この度、ACRLでは、早期診断・早期治療が極めて有効な希少遺伝性疾患の7疾患^{※1}を対象として希望者に有償で行う拡大新生児スクリーニング検査に関して、健康づくり財団から受託する契約を締結いたしました。

健康づくり財団は、群馬県内の医療機関の新生児スクリーニング検査を担っており、今回の契約締結により、群馬県内の医療機関で出生した新生児は、すべての新生児に対し公費負担で実施されている先天性代謝異常等の検査（新生児マススクリーニング検査）に加え、これに含まれない7疾患に対する検査についても有償で受診することが可能となります。

当社では今後とも、企業理念である「治療法がない疾病分野や難病、希少疾患などを対象にした革新的な遺伝子医薬の開発・実用化を通じて、人々の健康と希望にあふれた暮らしの実現に貢献する」に従い、この検査事業によって少しでも多くの方が希少疾患の早期発見、早期治療できる社会を目指してまいります。

当該契約締結による検査事業の収益は、2024年3月14日に発表いたしました当連結会計年度の連結業績予想に含まれているため、業績予想に変更はありません。

以 上

ACRLとは

ACRLは、2021年4月1日より一般社団法人 希少疾患の医療と研究を推進する会（以下、「CReARID」^{※2}という）から拡大新生児スクリーニング検査である「オプションスクリーニング」を受託しており、2022年には年間約1万件、2023年には年間約2万件の検査を実施している衛生検査所です。
当検査所は、国内最多の検査項目数となる9疾患の拡大新生児スクリーニング検査が実施可能であることに加え、拡大新生児スクリーニング検査の9疾患のうちの一部疾患のみの検査を受託するなど、自治体等の要望に応じて検査を受託が出来る体制^{※3}を整えています。

※1 対象の7疾患：ムコ多糖症I型、II型、IVA型、VI型、ファブリー病（男児のみ）、ポンペ病、副腎白質ジストロフィー（ALD：男児のみ）

※ 2 CReARIDでは、最新の検査技術を用いて、発症早期あるいは発症前の発見に寄与し、希少遺伝性疾患の診断に苦慮する一般の医師と専門医をつなぎ、早期診断と適切な治療選択を支援する活動を展開しています。

<http://www.crearid.or.jp/>

※ 3 ACRLにおける拡大新生児スクリーニングの受託

ACRLの拡大新生児スクリーニング検査の特徴

国内では最多の検査項目数となる9疾患のスクリーニング検査が実施可能
またその強みを生かし、ご要望やニーズに沿って検査パッケージをご提案

※下表はACRLが自治体の要望に合わせて検査を受託できるイメージ

自治体	検査項目数	Fabry	Pompe	MPS I	MPS II	MPS IVA	MPS VI	PID/SCID	SMA	ALD
自治体①	9	ACRL	ACRL	ACRL	ACRL	ACRL	ACRL	ACRL	ACRL	ACRL
自治体②	7	ACRL	ACRL	ACRL	ACRL	ACRL	ACRL	検査所A	検査所A	ACRL
自治体③	4	ACRL	ACRL	ACRL	ACRL	—	—	検査所B	検査所B	—

検査項目を特定のパッケージで受託している自治体がありますが、ACRLでは、
・9つの疾患全てのスクリーニング検査の受託をする
・一部の疾患の検査のみを受託する
など、要望に応じて、臨機応変な対応が可能です